

令和3年度第1回 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会記録

日時 令和3年8月2日(月) 15:00～15:55

場所 医学部本館1階 大会議室

出席者 富田委員長、中西委員、王委員、清住委員、青木委員

関係出席者 吉田病院長、清水副病院長・医療安全管理責任者、熊田医療安全管理室長、境医療安全管理室副室長、廣瀬看護部長、塚田臨床倫理室長、馬場生体支援センター長、鈴木医薬品安全管理責任者、安田副薬剤部長、飯原薬剤師GRM、古井医療機器安全管理責任者、柚原臨床工学技士長、佐野看護師GRM、早野事務部長、畠山総務課長、坪井経営企画課長、岡田医事課長、齋藤医療支援課長、杉本総務課長補佐、佐藤医事課長補佐、山田医療支援課長補佐、飯沼医療支援課専門職員、高松総務係長

1 開会

新任委員の紹介

富田委員長から、新任委員の紹介があり、新任委員の清住委員、青木委員から挨拶があった。

病院長挨拶

吉田病院長から開会に先立ち、挨拶があった。

2 議事

① 令和2年度岐阜大学特定機能病院外部監査委員会監査報告書について

富田委員長から資料1に基づき、令和2年度岐阜大学特定機能病院外部監査委員会監査報告書について説明があり、審議の結果、原案通り承認した。

② 令和2年度医療安全管理委員会活動評価・医療安全研修報告について

熊田医療安全管理室長、飯原薬剤師GRMから資料2-1、資料2-2に基づき、令和2年度医療安全管理委員会活動評価・医療安全研修について目標の達成状況及び研修実施報告があった。

<説明に対する主なご意見 ○:意見・質問 ●:回答>

○目標2(転倒・転落及びせん妄ケアに関するマニュアルの見直し、患者影響レベル2以上の事例割合を20%以下とする)の未達成の要因は何か。

●マニュアルの改訂については、転倒のアセスメントにおいてアセスメントスコ

アを患者さんの状態に合わせた詳細なものに変更したため、看護部内での承認時間を要したこと、および、せん妄のマニュアルは精神科リエゾンチームと協働し改訂したが、睡眠剤の効果等の説明のみならず、指示の統一など介入の部分まで踏み込んだため時間を要した。

- マニュアルの運用周知がされればレベル2以上の事例割合が低下するか。
- 転倒・転落は患者要因の事例もあるが、未然にできるだけ防ぐこと、患者影響レベルを下げる対策に取り組んでいきたい。
- レベルを下げる工夫はあるか。
- 医療事故再発防止の提言を参考に、患者の身体レベルに合わせた対応についてフロー化しマニュアルに追加している。
- コロナの中で医療安全研修はいつもより実施が困難であったと思うが、研修回数や内容などやり方を工夫したか。
- 感染対策上、できる限りビデオ等の研修を取り入れるなど工夫し、今年度からはeラーニング研修を導入している。

③ 令和2年度インシデント報告集計について

佐野看護師GRMから資料3に基づき、令和2年度インシデント報告集計について説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○：意見、質問 ●：回答>

- 600床クラスの病院では、年間2~3000件程度のインシデント報告があるのは通常である。インシデントの原因を検証し、再発防止に繋げ、結果的に大きな事故を防ぐことができるので、引き続き取り組みを徹底してほしい。

④ 令和3年度医療安全管理委員会活動目標計画・医療安全研修計画について

熊田医療安全管理室長、佐野看護師GRMから資料4-1, 4-2, 4-3に基づき、令和3年度医療安全管理委員会活動目標計画・医療安全研修計画について説明があった。

<説明に対する主なご意見 ○：意見、質問 ●：回答>

- 外来の診察室において医師と患者が1対1の関係になるのはどれくらいの割合か。
- 外来の看護師数等の人数に限られるため、ほとんどが1対1になる。
- 人数的な余裕があれば対応が可能か。判断に迷う場合や対応にリスクが高い場合などは看護師の同席があるといい。

- 重要なICや男性医師が女性を診察する場合など連絡があれば看護師が対応している。

⑤ 合併症報告について

境医療安全管理室副室長より資料5に基づき、今年度から導入した合併症報告の取り組みについて、導入後の報告件数が例年の2～4倍程度まで多くなっており、合併症が適切に評価され報告されるようになったと評価している旨説明があった。

＜説明に対する主なご意見 ○：意見、質問 ●：回答＞

- 昨年までだと報告がなかった事例はあるか。
- 昨年までは報告がなかった事例があると考えているが、現在は適切に報告されている。

清水医療安全管理責任者から、医療安全において一番大事なものは風通しのよい組織にすることと考えている。何かあればすぐ相談してもらえらる環境や院内体制の整備を引き続き推進し、医療事故の防止に心がけている旨説明があった。

⑥ 臨床倫理室活動状況について

塚田臨床倫理室長から資料6-1、6-2に基づき、令和3年2月から6月の高難度新規医療技術等申請状況及び生命倫理を伴う緊急医療行為の実施競技状況について説明があった。

＜説明に対する主なご意見 ○：意見、質問 ●：回答＞

- 緊急の生命倫理を伴う行為で、土日なども含めて大変かと思うが。
- 初めて行うものは対面での審議、過去に協議し安全に行われたものはメール審議としてニーズに合わせて実施しているが緊急で招集をかけることもある。
- このような活動によって医学が進歩していくので、慎重なところ、思い切ったところの判断が必要になるが、倫理の面も含めて引き続きしっかり対応していただきたい。

3 その他

総務課長から次回の日程について、来年2月頃開催を予定し日程調整を行う旨、説明があった。

資料一覧

- 資料1 令和2年度 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会監査報告書
- 資料2-1 令和2年度 医療安全管理委員会活動評価
- 資料2-2 令和2年度 医療安全研修報告
- 資料3 令和2年度 インシデント集計報告
- 資料4-1 令和3年度 医療安全管理委員会活動計画
- 資料4-2 令和3年度 医療安全研修計画
- 資料4-3 令和3年度 第1回医療安全・感染対策等研修会
- 資料5 合併症報告の導入に向けた当院の取り組み
- 資料6-1 令和3年2月～令和3年6月高難度新規医療技術等申請一覧
※会議後 修正あり
- 資料6-2 令和3年2月～令和3年6月
生命倫理を伴う緊急医療行為の実施協議開催状況
- 参考資料1 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会委員名簿
(令和3年8月1日現在)
- 参考資料2 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会規程